

課題①教科書 P8 の「ものの形」を見て、図形について、自分や、仲間が話しそうなことを想像して書いてみよう。



Empty speech bubble for the boy's thoughts.

Empty speech bubble for the girl's thoughts.



めあて ↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

形の特徴に注目して、図形を分類してみよう。

課題② 教科書9ページの図形を、2つの仲間に分けてみましょう。・・・「りくさんの考え」を見ると

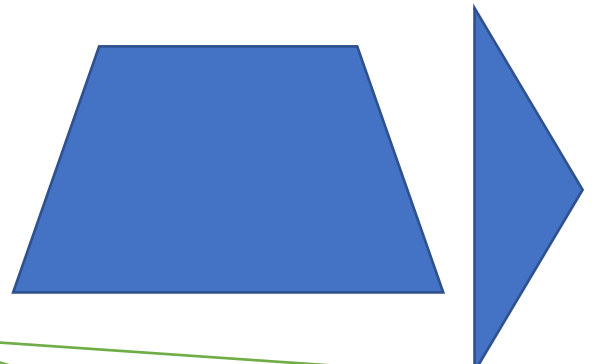
A の仲間は、( ) と( ) と( )  
※この仲間に、自分が名前をつけると?  
【 \_\_\_\_\_ 】

B の仲間は、( ) と( ) と( )  
※この仲間に、自分が名前をつけると?  
【 \_\_\_\_\_ 】

Aの仲間は、p279 の図形を切り取って調べてみると、あみさんが話すように、「二つ折りにするとぴったりに重なる」という点に気づきました。

まとめ Aの図形を( )な図形と言います。 ※B も名前があります、(4 時間目)

※教科書の用語の説明を、しっかり書いて、説明できるようにしよう。



<自分はこの見方に気づいたかな。>

自分が気付いたものと同じ ・ 気づかなかったが理解できる ・ 理解できないなあ。

<振り返り>

課題① P10 ② の図形について、対称の軸の左側と右側を見て、自分や仲間が話すことを想像して書いてみましょう。



Empty speech bubble for the boy to write.

Empty speech bubble for the girl to write.

めあて

↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

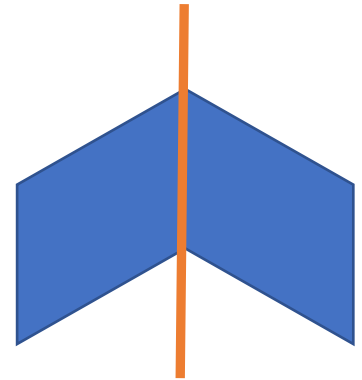
線対称の図形を構成する要素(辺・角・点)の特徴を探し出し、文章でまとめよう。

「二つ折りにするとぴったりに重なる」ということから、対称の軸の左半分と右半分の図形の辺と角と点は重なり合い、合同であることが分かります。

5年の「図形の合同」で学んだ『対応する』という言葉を使って、線対称な図形の”性質”を、

教科書 p11 のようにまとめることができます。

※教科書の用語の説明を、しっかり書いて、説明できるようにしよう。



<自分はこの知識を理解できたかな。>

確実に理解できた ・ おおむねできたけど、用語の説明があやふやになりそう ・ 理解できないなあ

<振り返り>

課題① P13④の図形について、線対称な図形になるように右半分をかいてみよう。

課題② どのようなにかいたか、自分が仲間に説明することを意識して書いてみましょう。

①



②

③

めあて

↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

線対称の図形の特徴を、対称の軸を使った見方で文章でまとめよう。

対応する点が「対称の軸の右側のどこにあるか」を探るとき、方眼を利用して考えました。

4年の「垂直と平行」で学んだ2つの直線の関係を表す表現を使って、

教科書 p12 のようにまとめることができます。

※教科書の用語の説明を、しっかり書いて、説明できるようにしよう。



<自分はこの知識を理解できたかな。>

確実に理解できた ・ おおむねできたけど、用語の説明があやふやになりそう ・ 理解できないなあ

<振り返り>

課題① アルファベットの大文字を見て、線対称になっている文字のデザインはあるかな。

A B C D E F G H I J K L M N  
O P Q R S T U V W X Y Z

めあて

↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

世の中の線対称の図形を探し、その図形を見て、  
感じることを文章に表してまとめよう。

課題② 身の回りの図形やデザインで、「線対称」の形をもつものをあげてみよう。

①



②

③

課題③ 次のマークは、線対称かな？(そもそも何でしょう?)



<自分は「線対称」の知識を  
生活に結び付けられるかな。>

確実に理解できる

・

探せる自信がない

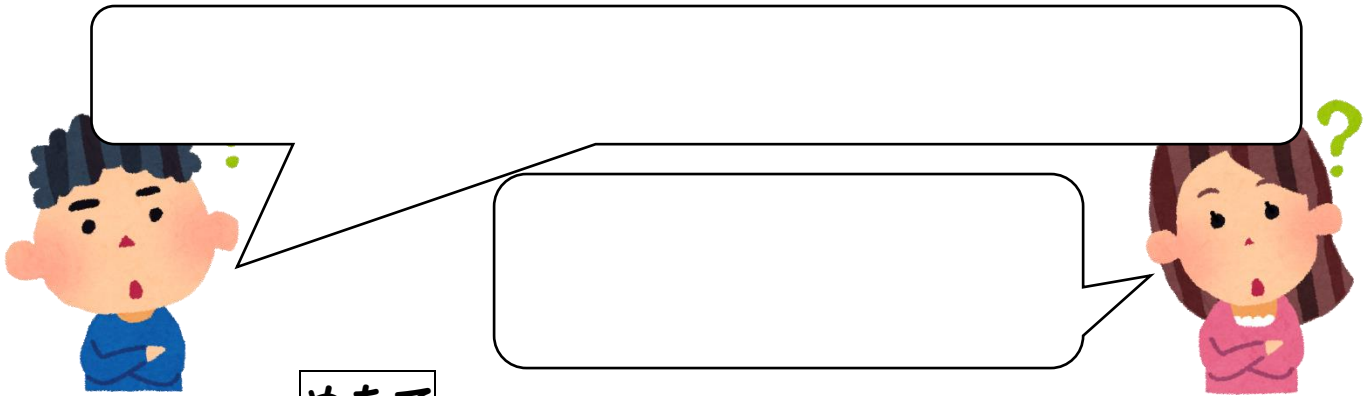
・

見つけられないなあ

<振り返り>

※そういえば、1 時間目の B の図形は、線対称？

課題① P9の「Bの図形」は線対称と言えるだろうか。自分や仲間が話すことを想像して書いてみましょう。



めあて

↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

Bの図形を構成する要素(辺・角・点)の特徴を探し出し、文章でまとめよう。

Aの図形(線対称)とBの図形を、「中心」をもとに、360度回転させてみよう。(教科書 p14 □ ①)

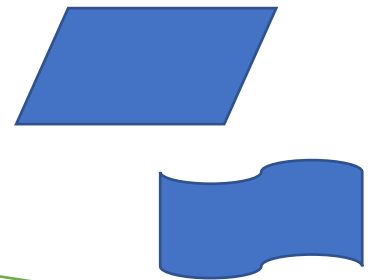
Aの図形は、もちろん 360度回転させれば、元の図形に戻ります。

何度?!

Bの図形は、360度回転させる前に、1回、もとの図形と同じになります。

☆この特別な特徴のある図形を、教科書 p14 では、新しい用語を用いてまとめています。

※教科書の用語の説明を、しっかり書いて、説明できるようにしよう。



<自分はこの知識を理解できたかな。>

確実に理解できた ・ おおむねできたけど、用語の説明があやふやになりそう ・ 理解できないなあ

<振り返り>

★点対称も、線対称と同じような学習事項が続くのかな？

予想 (線対称と同じ「対応」や「作図」がある ・ 新しいことが増える ・むしろ点対称ではできないことが出てくる)

**課題** 「点対称」も、「線対称」と同じような構成する要素に関するのだろうか？

**めあて** ① ↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

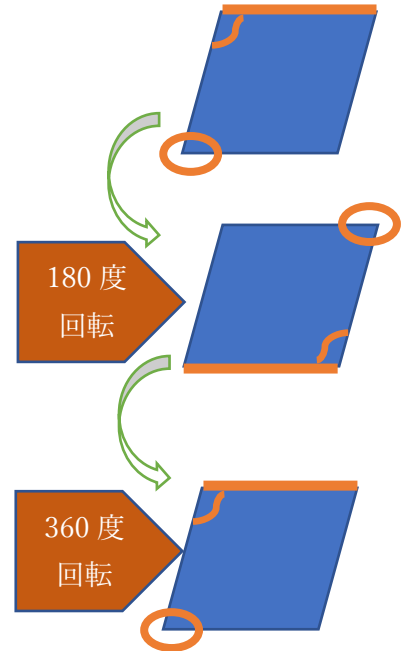
「点対称」も、「線対称」と同じように構成する要素(辺・角・点)の特徴を探し出し、文章でまとめよう。

☆点対称も、180度回転したときに、ぴったり重なる辺・角・点

それらを、「( )する」という言葉を使って表します。

→課題の答え「関係が( )」!

☆点対称な図形の性質は、教科書 p15 のようにまとめることができます。



※教科書の用語の説明を、しっかり書いて、説明できるようにしよう。

<自分はこの知識を理解できたかな。>

確実に理解できた ・ おおむねできたけど、用語の説明があやふやになりそう ・ 理解できないなあ

### 振り返り

**課題** では、点対称な図形のかき方もあるのだろうか？

予想 ( 線対称と同じく「対応する点」などを使う ・ 線対称とは全く違いかき方になる ・ 点対称はかけない )

課題① P18 4の図形について、点対称な図形になるように右半分をかいてみよう。

課題② どのようにかいたか、自分が仲間に説明することを意識して書いてみましょう。

①



②

③

対応する点が「対称の中心を基準にして、180度回転した方のどこにあるか」を探するとき、2点を通る直線を利用して考えました。

**めあて**

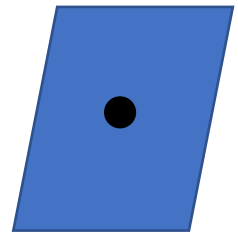
↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

点対称の図形の特徴を、対称の中心を使った見方で文章でまとめよう。

2年の「三角形と四角形」で学んだ、2つの点を通ると直線が決まる関係を使って、

教科書 p17 のようにまとめることができます。

※教科書の用語の説明を、しっかり書いて、説明できるようにしよう。



<自分はこの知識を理解できたかな。>

確実に理解できた ・ おおむねできたけど、用語の説明があやふやになりそう ・ 理解できないなあ

<振り返り>

**めあて**

↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

点対称の図形を探し、その図形を見て感じることを自分の感覚を文章に表してまとめよう。

**課題①** アルファベットの大文字を見て、点対称になっている文字のデザインはあるかな。

A B C D E F G H I J K L M N  
O P Q R S T U V W X Y Z

あれ?と思った図形はありませんでしたか? 4時間目でも選んだぞ、と。  
つまり・・・

(まとめ) \_\_\_\_\_

**課題②** 身の周りの図形やデザインで、「点対称」の形をもつものをあげてみよう。

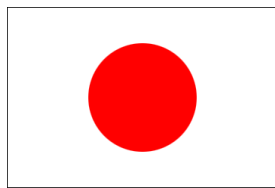
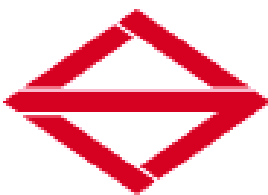
① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_



**課題③** 次のマークは、点対称かな?(そもそも何でしょう?)



<振り返り>

<自分は「点対称」の知識を生活に結び付けられるかな。>

確実に理解できる

・

探せる自信がない

・

見つけられないなあ



**めあて**

↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

今まで学んだ図形を、対称の観点で見直してみよう。

**課題** 教科書P19~20で、今まで小学校で学んできた「四角形」(2・4年)、

「三角形」(2・3年)、そして「多角形」(5年)、「円」(3・5年)の図形を

表をもとに考えましょう。(教科書書き込み可)

**まとめ** <気づいたことがあったら書き入れましょう。>

①



②

③

<新しい学びをまとめてみよう>

※線対称・点対称という新しい図形の分類の仕方について

※世の中にある線対称・点対称の発見について